

じょく そう

褥瘡(床ずれ)のない日本社会を目指す

活動内容

病院や老人ホームなどに整膚師と整膚美容師の資格を持つ会員が訪問し、整膚を実施。整膚とは、皮膚を軽くつまむことで血流を促す技法のこと。褥瘡は長時間皮膚が圧迫され、血流が悪くなることで生じるが、整膚を施すことで予防が可能。美肌、生活の質の向上にも効果がある。また整膚の技術講習会を開催しており、一般市民を対象とした自分でできる整膚の講習から、介護士・看護師を対象とした整膚美肌褥瘡予防資格を取得できる講習まで幅広く実施している。

活動の背景、活動への思い

整膚は20年前に、健康・美容・癒しに非常に効果的な学問として、名古屋で『整膚学園』の徐堅学長により考案された。整膚は美肌から褥瘡予防に効果的であり、その技術を活かし、病院や老人ホーム、福祉団体で整膚を始めたことが活動の始まりである。団体理事は全員整膚師や整膚美容師の資格を持つ全国の外科、脳神経外科、整形外科、内科などの医師で構成され、医療の現場でも整膚を取り入れている。褥瘡のない日本社会を目指して活動を続けている。

募集中!

「整膚に関心のある福祉施設や病院は、ぜひご連絡を」と呼びかけている。職員を対象とした講習会や、自分でできる整膚の講習会の他、整膚の実践にボランティアで出向くことが可能とのこと。希望する人は、整膚学園内『整膚美肌褥瘡予防協会』まで電話を。



概要

法人認証年月日 / 2011年9月9日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / 社会教育、職業能力・雇用機会

→ 連絡先

〒451-6003 名古屋市西区牛島町6-1

TEL 052-931-5522

月～日 9:00～18:00 祝除く

FAX 052-931-6675

E-mail info@seifu-institute.jp

URL http://www.seifu-institute.jp/

廃棄予定のまだ食べられる食品を生活困窮者へ届ける

活動内容

1. 品質には問題がないにも関わらず賞味期限が近いために廃棄される食品や、包装にミスのある食品(野菜や調味料、レトルト食品等)を、企業もしくは個人から受け取り、社会福祉施設や外国人労働者支援団体に届ける『フードバンク』の活動を行っている。
2. 東日本大震災で被災した人に向けて、食品を詰め合わせた『ごはん応援箱』を送っている。「食を通じた、物と心の両面の支援」として、食品だけでなく応援メッセージも入れている。

活動の背景、活動への思い

日本の食糧廃棄量は約1,900万トンに及び、そのうちの900万トンは品質には問題がないにも関わらず廃棄されている。また、東海地方には外国人労働者が多いという特徴があり、最近是不況のために生活に困っている外国人が多く存在する。まだ食べられる食品を活かして生活困窮者を救おうと、マザーテレサの「豊かな国で貧困と闘うことは、貧しい国で戦うことよりもはるかに困難だ」の言葉を胸に、この地域の社会問題と向き合っている。

募集中!

同団体で活動するボランティアを募集中。食料品をトラックへ積み込む作業や、食品の仕分け作業などさまざまな仕事がある。自ら考え、行動できる人を求めている。学生から高齢者まで、興味のある人は問い合わせを。



概要

法人認証年月日 / 2008年12月24日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 環境保全、国際協力

→ 連絡先

〒461-0018 名古屋市東区主税町3-33 マリア館1F

TEL 052-932-2828 平日 9:00 ~ 17:00

FAX 052-982-6183

E-mail info@2h-nagoya.org

URL http://www.2h-nagoya.org/

良質なリハビリテーションを全国へ

活動内容

定例会を年に4回開催。2回は都市圏においてリハビリに関する専門家や経営コンサルタントなどによる講演会を、ほか2回は地方のリハビリに関わる企業で企業見学を兼ねて行っている。また、法律解釈や利用者の特性に地域で差が生じるため、全国を4つのブロックに区分し勉強会を開催している。そのほか、リハビリ効果のデータに関する調査・研究や、協賛企業の協力を得て、リハビリに関する備品を低価格で共同購入するなどしている。

活動の背景、活動への思い

リハビリ専門職の起業家たちが集まり、将来に向けての取り組みや地域貢献などをテーマとする勉強会を開催したことが活動の始まりである。その後、活動を幅広く展開するため団体を設立。リハビリ利用者が、提供されるプログラムをただ受けるだけでなく、自ら動き出すことを促すような良質なリハビリが全国どこでも受けられるよう、「地域でリハビリを担う事業者たちの知識や技術の向上に努めていきたい」と理事は語る。

メッセージ

全国各地域の会員の中には、訪問サービスだけでなく通所サービスなどを実施している事業所もある。リハビリに関心のある人は「ぜひそこでボランティアに携わってほしい」と呼びかけている。「活動を希望される方には、お近くの事業所をご案内する」とのことなので、まずは問い合わせを。



概要

法人認証年月日 / 2010年1月29日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / まちづくり、職業能力・雇用機会

→ 連絡先

〒460-0012 名古屋市中区千代田2-6-18

TEL 052-238-5496 平日 9:00 ~ 18:00

FAX 052-238-5497

E-mail public@zaitaku-reha.com

URL http://zaitaku-reha.com/

民家の宅老所は、家庭生活の延長の場

活動内容

民家を「宅老所」とした通所の介護施設で、食事・入浴・家事などのデイサービスを行っている。要介護のお年寄りも、家庭生活の延長のような作業をすることで、認知症の症状が軽くなる効果があるため、スタッフやボランティアと一緒に昼食の準備、後片付けや洗濯物をたたむなどの活動を行う。その他、家族の介護負担を軽減するための短期宿泊介護支援や、介護講習会、介護ボランティア実践として遠足や一泊旅行などの事業も行っている。

活動の背景、活動への思い

1990年頃は介護施設の数が少なく、家庭では老人介護の問題が切羽詰まった状況にあった。また大規模施設では利用者個人の希望がかなわなかったり、人格を尊重することが難しかったりするため、小規模でその人らしさを大切にする施設をつくりたいと考え、この活動を始めた。重度の人への対応がきめ細かくできるよう、利用者に対して職員の数も多くしており、財政的には赤字となるが、できるだけ正職員を置く方針をとっている。

メッセージ

地域の人たちとの交流の場『おしゃべりサロン』では、昼食会や手芸クラブ、スケッチ教室など趣味のサークルがあり、近くの人に気軽な参加を呼びかけている。他にも、古着や日用品のリユース(再利用)コーナーが常設されている。勉強会やおしゃべりの場として地域に開放されており、楽しい一日が過ごせる。



概要

法人認証年月日 / 1999年9月1日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / まちづくり

→ 連絡先

〒453-0045 名古屋市中村区藤江町3-41-1

TEL 052-461-1271 平日・土 10:00 ~ 16:00

FAX 052-461-1291

E-mail hajimenoippo@herb.ocn.ne.jp

URL -

「このまちで自分らしく生きたい」人を地域で支援

活動内容

福祉サービス事業所『愛・Iホームヘルプステーション』を運営。在宅での暮らしを希望する高齢者の家事援助や訪問介護のサービス、障害者が地域で暮らせるように日常生活の介助や外出支援などのサービスを行っている。また名古屋市在住者を対象に、ひとり親家庭の支援や産前・産後の手伝い、高齢者一人ひとりのこだわりを大切にしながら自立して生活できるよう支援する訪問サービスなど、介護保険対象外の支援も行っている。

活動の背景、活動への思い

生活クラブ生協の「エコロ共済制度」では、組合員以外の助け合いは対象とならないので「ワーカーズ・コレクティブ」という働き方でNPOを設立。「このまちで自分らしくいきいきと暮らしたい」と願い手助けを必要とする人々に、同じ地域で暮らす住民として、家庭生活のこだわりや思いを大切にしたいきめ細かな心の通うサービスを提供したいと考えている。助け合い支え合って信頼の輪を広げ、心豊かに暮らせる「参加型福祉のまちづくり」を目指す。

募集中!

地域交流の『サロン』は、利用者同士が一日中話していても飽きない場所として開設されているので、近くの人はずいぶん利用を。また、一緒に働いてくれる人を募集している。資格のある人(これから取りたい人も可)、家事・育児の経験を活かしたい人などで、「自分に何ができるのか」を考えながら働く人を求めている。



概要

法人認証年月日 / 2005年6月15日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / まちづくり、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒465-0026 名古屋市名東区藤森2-114-1

TEL 052-773-1455 平日 9:00 ~ 17:00

FAX 052-773-1457

E-mail tasukeaiwco.aii@gmail.com

URL -

聴覚・ろう重複障害者の社会参加と自己表現をサポート

活動内容

聴覚と他の障害を併せもつ『聴覚・ろう重複障害児・者』とその家族への福祉サービス事業を行う。手話などコミュニケーションの環境を整え、利用者が個人の尊厳を保ちながら地域で生活し、自立と社会参加ができるよう支援する。名古屋市内に、いろいろな日中作業と手作り石けんなど化粧品製造を行う『碧(みどり)』、ろう・盲学校に通う子どものためのデイサービス『つくしっこ』、訪問介護などを行う『おれんじ』の事業所がある。

活動の背景、活動への思い

聴覚・ろう重複障害児たちは学校で手話を身につけたにも関わらず、卒業後作業所で手話でのコミュニケーションが取れず孤立し、孤独感から身体や精神の病気をきたし家に引きこもる現実があった。「コミュニケーションさえ取ることができれば、作業に参加できるのに」との思いから、ろう学校に通う子どもの親の会が同団体を設立。各事業所では、聞こえない利用者たちとのコミュニケーションを大切にしながら、生活を支援する。

募集中!

聴覚・ろう重複障害をもつ人の福祉サービスの利用方法や生活上の困りごとについて、相談を受け付けている。また、青年の日中活動(作業や生活)や障害児たちの放課後活動、学習指導など、同団体を手伝ってくれるボランティアを募集している。「彼らと触れ合うことで、聴覚・ろう重複障害の人への理解を深め、心をつなげて欲しい」とのこと。



概要

法人認証年月日 / 2003年9月10日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / -

→ 連絡先

〒463 0073 名古屋市守山区守牧町19

TEL 052-795-8264

FAX 052-795-8264

E-mail honbu1@tukusi.org

URL <http://www.tukusi.org>

障害児・者の地域生活を多方面から支援する

活動内容

ヘルプステーション『かんがるーぽけっと』を運営。身体・知的・精神障害者に対し、ヘルパーを派遣している。また学齢期の障害児に対し、放課後や土曜日の余暇活動の場を提供。パソコンやゲームなど各自が自由に好きなことをして過ごす他、月に1度調理教室も開催している。そのほか、講師を招き、成年後見制度など障害に関するテーマの学習会を開催。今後は学齢期終了後の居場所づくりや宿泊サービスなどにも取り組む予定。

活動の背景、活動への思い

障害児の親たちが前身の『作業所つくろう会』を結成し、子どもたちの就学や日常生活について話し合う場をもつとともに、施設見学などの活動を開始。子どもたちの成長に伴って居場所の確保の必要性が高まったことや、障害者の地域生活を支援する制度が整備され利用しやすくなったことから団体を設立し、事業をスタートした。すべての人が地域で暮らせる社会を目指し、地域福祉の充実や支援制度の普及にも取り組みながら活動を続けている。

募集中!

ヘルプステーションに登録し、活動できるヘルパーを募集している。必要な資格はヘルパー2級以上。活動場所は名古屋市瑞穂区、熱田区、南区、港区が中心となる。また、会員やボランティアも募集中。ボランティア内容は、調理教室の手伝いや余暇活動の付き添いなど。希望する人は連絡を。



概要

法人認証年月日 / 2008年6月26日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / 子どもの健全育成、NPOの援助

→ 連絡先

〒455-0003 名古屋市港区辰巳町41-15
メゾンルピナス505号

TEL 052-661-9730 平日 10:00 ~ 17:00

FAX 052-661-9730

E-mail npo@wheelchair.jp

URL <http://www.wheelchair.jp/npo/>

障害者を共に働く仲間として、人権を尊重しながら支援

活動内容

1. 生活介護『つばさ』を運営し、利用者の日中介護を行う。午前中は箸の袋入れ作業といった生産活動、午後は個別・数人のグループで、工作などの創作活動、運動・音楽療法・スヌーズレン(五感に訴える音楽・色・匂いを使いリラククス効果を高める)などの療育活動をしている。
2. ケアホーム『そら』を運営し、障害者が親元を離れ暮らすホームで、夕食作りや入浴などの生活介助を行う。

活動の背景、活動への思い

同団体の前身は、作業所を運営していた『手をつなぐ親の会』。時を経て、現在は主に就労が困難な障害者が社会で自立し生活できるよう支援している。利用者が何を望んでいるかを第一に考え、一般の倍近い数の職員を置いて、手厚い支援をしている。支援員と運営側が双方の考え方を尊重し合い、支援員も利用者も同じ働く仲間として接し、事業所に関わる一人ひとりの人権を尊重している。

募集中!

喫茶店やレジャー施設など、地域の中へ出ていく活動や季節の行事もたくさんあるので、一緒に出かけるボランティアを募集している。参加した学生ボランティアは、「友達に会いに行く感じがする。ボランティア観が変わった」というほど、『つばさ』でのボランティアは楽しいのだとか。興味のある人はぜひ連絡を。



概要

法人認証年月日 / 2005年10月28日
主な活動分野 / 保健・医療・福祉
従たる活動分野 / -

→ 連絡先

〒453-0813 名古屋市中村区二ツ橋町4-37

TEL 052-482-9733 平日 9:00 ~ 17:00

FAX 052-482-9733

E-mail cwrpg814@yahoo.co.jp

URL <http://www.geocities.jp/tsubasafukushikai/>

一人ひとりにぴったりと寄り添う支援を目指して

活動内容

社会福祉士や精神保健福祉士が中心となって、個人、企業に対してさまざまな相談支援活動を行う。近年、介護スタッフからのメンタルヘルス相談が増加していることから、対人援助者ゆえのストレスや対人関係の難しさを心理学面から解説するセミナーを開催。併せて、メールなどを活用して職場の悩みをいつでも相談できる体制を整え、相談者をしっかりとサポート。介護福祉における人的サービスの向上に寄与している。

活動の背景、活動への思い

心の悩みを抱えたり、判断力が衰えたり。人々が生きていく中での不安や困り事の相談に乗り、支援できる環境をつくりたい。そんな思いをもつ専門家(成年後見人制度や権利擁護、社会保障制度、メンタルヘルス関連など)が設立した。『てあも』とは、「あなたが好き」という意味のスペイン語。その名のように、一人ひとりをかけがえのない存在として認め、寄り添い、「生きていてよかった」と前を向いて歩める支援をモットーに活動を続けている。

募集中!

ストレス・フィットネスや対人心理学などのセミナー依頼を受付中。企業、団体をはじめ、町内会、婦人会、PTAなどからの依頼も大歓迎。「思春期を迎えたわが子との付き合い方」「部下の叱り方」など、依頼内容に合わせて企画したオリジナルセミナーを格安で開催する。料金は一人500円が目安。



概要

法人認証年月日 / 2010年11月12日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 人権擁護・平和推進

→ 連絡先

〒465-0074 名古屋市名東区山香町104

TEL 052-782-1741 平日 9:00 ~ 17:00
 土 9:00 ~ 12:00

FAX 052-782-1610

E-mail info@teamo.or.jp

URL http://www.teamo.or.jp/

元気な高齢者が、人々の安全・安心を支える

活動内容

1. 高齢者や歩行障害をもつ人の住まいに出向き、介護保険を利用した手すりの取り付け、バリアフリー化など小規模な住宅改修工事、家具転倒防止金具の取り付けなどを行っている。
2. 地震対策や家具転倒防止、家庭内事故防止などの講習会を開催している。2009年度は『高齢者の為のなるほど、地震対策講座』において、講義と、家具転倒防止止め金具の取付け体験を企画した。

活動の背景、活動への思い

現代表がこの活動を始めたきっかけは、店舗デザイナーを定年退職後、ハローワークで偶然『手すり取付け養成講座』のチラシに出会ったことだった。その講座の中で住宅改修を目的としたNPOの設立を勧められたため、手すりを取り付けるNPOを設立することを決めた。同団体で活動しているメンバーは、高齢者が大半であり、「私たち元気な高齢者が、元気うちに困っている人を助けよう」との思いをもって、活動を続けている。

募 集 中 !

会員を随時募集している。実務研修と月2回の会合への参加が必須となり、研修終了後から手すりの取り付けなど住宅改修工事に携わる。会員の多くは、住宅改修の専門家や、水道、無線・通信関係などの固有技術・技能をもった元気な高齢者たち。会員について詳しく知りたい人は問い合わせを。



概要

法人認証年月日 / 2004年1月5日
 主な活動分野 / 保健・医療・福祉
 従たる活動分野 / 職業能力・雇用機会、NPOの援助

→ 連絡先

〒462-0037 名古屋市北区志賀町4-60-5
 アーバンラフレ志賀14-505

TEL 052-916-0642 平日・土 9:00 ~ 17:30

FAX 052-916-0642

E-mail tesurinagoya@live.jp

URL <http://www9.plala.or.jp/tesurinagoya/>